

《 入 谷 地 区 町 会 連 合 会 》

日時：7月11日（月） 午前10時から（会 場：入谷区民館）

◇鶯谷駅北口について

質問	回答	対応
<p>令和元年にも同じ質問をさせていただいたところ、「北口のバリアフリー化と人員配置について早期に実現できるよう、JRに要望していく」とのご回答をいただきましたが、その後の進展はあったのでしょうか。</p> <p>駅へのエレベーター設置は無理なようですが、エスカレーター1台なら可能ではないでしょうか。</p> <p>また、北口周辺の再開発の計画はあるのでしょうか。</p>	<p>鶯谷駅北口のバリアフリー化やエスカレーターの設置については、区としても、駅を利用される皆様の利便性向上のためJRに要望してまいりましたが、駅の構造上技術的な課題があり、設置が困難であると見解を受けています。また、北口の無人化以降は、利用者の安全・安心の観点から人員配置を要望してまいりましたが、今回のお話を受け、ただちにJRとの協議の場を設けます。</p> <p>今後も様々な機会を捉え、これらの実現に向けて粘り強くJRに働きかけてまいります。</p> <p>そして現在、再開発の話は出ていませんが、鶯谷駅周辺を中心に魅力あるまちづくりを進めるため、区では今年度、駅周辺の土地利用や道路状況等の基礎調査を実施し、まちづくりの課題抽出と整理を行います。地域の皆様のご意見を伺いながら、まちづくりの方向性を検討してまいります。</p> <p>※令和4年7月、JR東京支社に対して、鶯谷駅北口のバリアフリー化と人員配置について申し入れました。（都市計画課）</p>	●

◇健康寿命をいかに延ばすかについて

質問	回答	対応
<p>平均寿命は、男性82歳、女性88歳とされていますが、自立して健康でいられる健康寿命は約10歳ずつ低いのが実情です。これを少しでもアップできれば、政府や区の財政も違ってくると思われます。</p> <p>区でも種々施策を実施していますが、今ひとつPR等を見直し、強化することが肝要だと思います。</p>	<p>区では、住み慣れた地域でいきいきと安心して暮らし、主体的に健康への取り組みができるよう「健康たいとう21推進計画」を策定して、健康増進に関する施策を推進しています。</p> <p>施策の例として、地域における健康づくりのリーダーである健康推進委員の方々が、地区での行事やウォーキングイベントなどを開催し、区民一人ひとりが自主的に健康で暮らせるような活動を実施しています。</p> <p>また、健康寿命を延伸するため、がんの予防・早期発見や、生活習慣の改善による生活習慣病の発症予防等の対策を推進するほか、個別に検診案内の通知を送付するなど、受診勧奨の対応も行っています。</p> <p>さらに、高齢者の介護予防の普及啓発として、広報紙の発行、介護予防番組の配信のほか、健康体操のDVDを無償で配付するなど、様々な取り組みを行っています。</p> <p>今後も区民へのわかりやすい周知方法や啓発方法を検討し、より一層、健康増進に関する施策をPRしてまいります。</p>	<p>○</p>

◇煙草のポイ捨てについて

質問	回答	対応
<p>喫煙者が減少傾向にあるとはいえ、相変わらずポイ捨てが減りません。</p> <p>区に条例があるなら周知徹底し、なければ条例を制定するべきであると思いますが、いかがでしょうか。</p>	<p>区では、「東京都台東区ポイ捨て行為等の防止に関する条例」により、ポイ捨て行為を禁止し、これまでマナー啓発に取り組んでまいりました。</p> <p>条例の周知については、喫煙等マナー指導員の働きかけのほか、区の広報紙や区公式ホームページへの掲載、路面標示シートの貼り付け、ウエットティッシュなどの啓発品の活用など、様々な方法を利用した周知活動を実施しています。</p> <p>しかし、「健康増進法」の改正や「東京都受動喫煙防止条例」の施行により、屋内での喫煙が原則禁止となったことから、屋外での喫煙の増加や、依然としてマナーが守られていない状況があります。そのため、区による公衆喫煙所の整備に加え、民間事業者等による公衆喫煙所の設置に係る経費、および維持管理経費の助成を開始し、公衆喫煙所の整備を推進しています。</p> <p>引き続き条例の周知を徹底し、屋外における喫煙マナー啓発の強化、および環境美化の促進に努めてまいります。</p>	<p>○</p>

◇台東区全体の幼児教育について

質問	回答	対応
<p>区立幼稚園11園が今置かれている状況は、大変苦しいものがあります。保護者は、保育園、幼稚園、こども園、自分で育てるなど育て方を選ぶ権利があり、また、保護者にとっては平等の対応が望ましいですが、区立幼稚園については、園児数の減少、預かり保育実施の格差など看過できない状況にあります。</p> <p>区長として今後の幼児教育の在り方、お考えをお聞かせください。</p>	<p>区立幼稚園が置かれている状況は大変厳しく、保護者の就労状況や保育ニーズの多様化など社会情勢の変化により、在園児数は年々減少しています。</p> <p>こうした保護者のニーズに対応するため、令和2年度から給食を開始し、令和3年度から預かり保育の試行を開始しました。令和4年度からは、さらに内容を拡充し、給食は全園で週5回の提供を選択できるようにし、預かり保育は一部園で利用できる時間と日数を増やして試行実施しているところです。</p> <p>今後も給食と預かり保育の効果検証を行うとともに、地域や年齢別のニーズ、人口推計等を踏まえ、幼稚園、保育所、こども園などの就学前教育・保育施設全体の適正な提供体制について検討してまいります。</p>	○

◇公園のごみ箱について

質問	回答	対応
<p>入谷南公園、山伏公園は多くの方々に利用されていますが、園内にごみ箱がないため、園内や周辺にごみが捨てられています。</p> <p>公園内にごみ箱を再設置することは可能でしょうか。</p>	<p>区では、本来「ごみは捨てずに持ち帰る」というマナーの定着が重要だと考えているため、区内公園のごみ箱は設置数を減少させていく方向で考えています。</p> <p>園内等にごみが捨てられている対策としては、現在、入谷南公園は週6回、山伏公園は週5回清掃を行っています。</p> <p>さらに、家庭ごみ等が持ち込まれないよう巡回警備も行っているところですが、もしごみ等が放置されている状態がありましたら、公園課にご連絡いただきますようお願いいたします。</p>	△

◇旧坂本小学校跡地について

質問	回答	対応
<p>以前、入谷地区町会連合会の定例会議において、「旧坂本小の跡地はスポーツ施設を中心に開発する」と説明されましたが、その後の進展はあるのでしょうか。</p>	<p>旧坂本小学校跡地は、現在、校舎を解体中で10月半ばに終了する予定です。</p> <p>解体工事後に広場の整備を行い、令和5年度から地域の皆様に広場としてご利用いただけるように進めてまいります。</p> <p>本格活用については、文化・スポーツ・防災の3つの機能を軸に、整備内容を検討していく予定です。</p> <p>当面は広場としての暫定活用となりますが、本格活用を見据えた幅広い世代の方々にご利用いただけるような活用についても検討してまいります。</p> <p>※令和4年10月、校舎の解体工事が終了しました。（用地・施設活用担当）</p>	<p>○</p>